

# 銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name	<input type="text" value="国土無双"/>	e-mail	<input type="text"/>
Title			
<input type="text"/>			
Message			
<input type="text"/>			
<input type="button" value="とうこう"/>			

[413] 続きです 2008年3月13日 21時32分

国土無双さん e-mail

またまた国土無双です。

先程の記事の続きです。

そのリハビリが、一昨年から日数で制限されてしまった。制限日数を越えた者は、介護保険で老人ホームのデイケアに行けというが、専門のスタッフもいないところで、リハビリなんかできない。その証拠に、いうことを聞いて介護保険に移った患者の七割以上が、リハビリを諦(あきら)めてしまった。

診療の報酬を決めるのは厚労省の権限だが、診療の制限までする権限はないはずだ。治らないからやめろというのは、死ねということに他ならない。残された機能を維持するのは大切な治療だ。やめてしまえというのは、糖尿病のインシュリン投与を中止しろというような乱暴なやり方ではないか。

治療を拒否された患者は、「リハビリ難民」と呼ばれた。しかし度重なる請願に関わらず、救いの手は差し伸べられなかった。「難民」は一転して「棄民」になってしまった。現代の「娼捨」に他ならない。

こういう事態を憂慮して、私は「診療報酬を考える会」の仲間と一緒に、二ヶ月間に四十八万人あまりのリハビリ制限反対署名を集めた。私は車椅子を押してもらって、支援者とともに、厚労省に署名簿を手渡した。

しかし国は、血の滲(にじ)むようにして集めた四十八万人の署名を握りつぶし、かえって再改定をして締め付けを強化した。その結果患者は二度捨てられたことになる。

療養病床の削減も「棄民」のいい例である。帰るところがない悲しい事情のある患者に、無理に退院を迫る。昔の結核病棟だって、最後まで患者を看取(みと)ったのに。「障害者自立支援法」も、残酷な「棄民法」である。この四月から始まる後期高齢者医療制度も、老人を現行の健康保険から切り離し、医療を制限し、負担を強いる典型的「姨捨政策」である。

長いので次に続きます。

[412] 自立支援法に関する意見 2008年3月13日 21時24分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

椿三十郎さん、ご自分の主張誠に立派だと思います。  
これからも是非、巨悪と闘って下さい。

三八さん、お久しぶりぶりです。  
三八さんが以前おっしゃっていたように、国土無双又、昇給しました。  
お元気なようで何よりです。

さて、自立支援法に関する面白い記事見つけましたので投稿します。

多田富雄の落葉隻語 現代の「姨捨」を憂える

わが心 慰めかねつ 更科や  
姨捨山に 照る月を見て

ひとり山に捨てられた老女が、皓々(こうこう)と照る月光の下で悲しみの舞を舞う能の名曲「姨捨(おばすて)」。同じく深沢七郎の小説「楢山節考」では、捨てられたおりんばあさんの悲劇が涙を誘った。「姨捨」には、中世農民の貧困という背景があった。そんな世には二度としたくないと誰もが思う。しかし今、国の政策としての「姨捨」が平然と行われている。

明治以来昭和に至る日本は、富国強兵によって国の近代化に成功したが、民意を無視して侵略戦争に突入し、敗戦の苦難を国民に強いた。これを作家小田実は「棄民」と呼んだ。

戦後の昭和は、捨てられた国民が決起して、民主、平和、平等など、人権を回復した歴史、つまり棄民が復権した時代であった。憲法にも国民の「生存権」が明記された。

それがまたまた危うい事態になっている。国民はまた捨てられようとしている。

「棄民」は、誰もが気付くように始められるものではない。気付かぬうちに、弱いものから捨てられてゆく。気付いたときはもう遅い。だからどんな微(かす)かな棄民の動きでも敏感に察知して食い止めなければならない。その初期の徴候と思われる事が最

近頻発している。

リハビリの日数制限はその好例である。リハビリなんてと見過ごしてはならない。こんなところから、棄民が始まっているのだ。

私は脳梗塞(こうそく)の後遺症で、右半身の完全な麻痺(まひ)と言語障害となり、車椅子(いす)生活を余儀なくされている。私のような重い障害を負った患者は、残っている機能を維持するため、リハビリを欠かすことはできない。中止すれば、寝たきりになる。リハビリがそれを防ぐのだ。

次に続く。

[411] "皆様 御久し振りです！！" 2008年3月13日 18時30分

三八(さんぱち)さん e-mail

皆様 御久し振りです！！ 三八です。

遅きに失しますが、ブルーアイズさん。有難う御座います！！  
失礼で申し訳有りませんが、此処で話題にする様な事は余り無かったので、当分、投稿致しませんでした。私は相変わらず元気で規則正しい生活をしています。  
前からですが、お金の無駄遣いはしていません。しかし、事情が有って、最近はウォーキングをしていません。近々、再開する積もりです。＼(^o^)/

最後に、皆様。大部暖かくなって来ましたが、ご自愛の程、頑張ってください！！

[410] 民主主義の話 2008年3月13日 11時25分

椿三十郎さん e-mail

「思想は自由だ」と言いながら「椿三十郎の思想(の書込み)はダメだ」などというのは矛盾している、と思います。表現の自由なき自由は、真の自由ではありません。「椿三十郎の書込みは良くない」というのも椿三十郎の考えに反対する政治思想以外の何物でもありません。この国では天皇制を批判する人たちに対しては右翼・警察・マスコミなどが一体となって圧力を掛けて来ます。マスコミは資本主義を批判する意見を大きく報道する事はありません。天皇制や資本主義を批判する自由のない国は民主主義国であるとは言えません。「ヒトラー(ナチス)を支持したドイツ国民」のようになってはならないという事は、民衆が(一人一人が)民主主義のために自ら闘わなければならない、という事なのです。385の書込みは何一つ間違っていない、と私は思います。この掲示板を思想の自由(表現の自由)のない右翼の掲示板にしてはならない、と私は考えます。

[409] みなさん、去らないでください 2008年3月11日 20時46分

ブルーアイズさん e-mail

こんばんは。ブルーアイズです。

朝永さんも国土無双さんもこの掲示板を去らないでください。

せっかくのとうこう仲間がいなくなっは寂しい限りです。

椿三十郎さんも暁の星さんに何か言われましたが

同じ読書を愛する人間として面白い本や映画の書き込みなどをしていただけるとありがたいです。

YUKIさんも三八さんもダンダンさんもどうかお暇があったら書き込みしてください。

[408] またもとの平和な掲示板に戻しましょうよ 2008年3月11日 19時39分

ブルーアイズさん e-mail

こんばんは。ブルーアイズです。

今日うちへ帰ってきて掲示板を見たらびっくり。

なんだか最近この掲示板も変になってきてしまいました。

いろいろあるとは思いますが

みなさん、気持ちをリセットしてまたもとの平和な掲示板に戻しましょうよ。

お互いが傷つけ合わない様なルールを考えて楽しい掲示板にしましょうよ。

[407] こんばんは 2008年3月11日 18時8分

YUKIさん e-mail

僕が口挟む問題じゃないと思いますが、朝永さんは暇な時はネットでもやっていて下さいと言われたそうなので、業務時間内でも業務に差し支えなければ、カキコミしても良の...。おそらく、そういう職場なのでしょう。しかし、一般社会なのに羨ましい限りです。私も朝永さんみたいな職場で働きたい。

[406] 出来れば過去の話はこれで最後にしたいと願って・・・(^\_^;) 2008年3月11日 18時3分

管理人さん e-mail

「違う名前(ハンドルネーム)を語って書き込みをする」

悪意の書き込み使用する場合は論外ですが・・・時として止むを得ない場合もあると思います。

「場合によっては仕方の無い時がある」管理人はそう理解しています。

以前、この掲示板がトラブルに見舞われた際もそうでしたが・・・

良くない事として・・・

「後で別の名前を使っていた事をこの場で公表する事」です。

御本人は正直にする事が良いと認めているのだと思いますが・・・ある意味、別の意味で迷惑行為だと思います。実際、他の方にとってのメリットは殆どありません。逆に人によっては不信感を与えてしまったり、怒りを買う事に繋がると思います。

「そのまま何も触れず、明かさずに終わればそれで良いと思います」

それと・・・

「それに対しての度を越えた執着・煽り・攻撃です。」

以前はこれが原因で失敗してしまいました。

正直な事は素晴らしい事ですが、他人に不快な思いをさせる正直さは時として誤解や悪意を買いかねる事があると思います。ルールを考える上で良く検討しないとイケない事ですね。

[405] 管理人さんは仕事の一部だと思います 2008年3月11日 17時48分

国土無双さん e-mail

こんにちは、国土無双です。

朝永さん、事情も良く察せず、国土無双の言葉で傷ついたなら、本当にすみません。心から謝罪します。

管理人の仕事上の書き込みは、この掲示板を運営している当事者なのですから、仕事上の書き込みがイケないということにはならないと思います。

銀杏の職員の方から許可が出ているなら問題ないと思います。

しつこいようですが、朝永さん、国土無双の書き込みだけで、この掲示板から去るようなことは無いよう。せっかく、仲間が増えたのですから。

[404] とても難しい問題ですが・・・ 2008年3月11日 17時35分

管理人さん e-mail

こんにちは、管理人です。

国土無双さんと浅永振一郎さんのルールに関しての提案を読ませていただきました。

2人ともこの掲示板の在り方について真剣に考えて下さっているのがとても良く伝わりました。ありがとうございます。

さて、「工作中的書き込み」・・という件に関してですが、ちなみにこの管理人の投稿もそれに抵触してますでしょうか？

ちょっと悩みながら投稿文章を作っています。 (-\_-;)

一般的に職場とプライベートの公私混同する事はタブーとされています。まさしく、国土無双さんの仰る通りです。しかし、場合に寄っては例外も在り得るかもしれません。

ただ、単に仕事をサボって掲示板を見ているなら誰が考えても悪い事です。しかし以前、浅永さん個人の書き込みにはこんな事が書かれていました・・・

当時の原文のままではなく覚書き程度になりますが、「職場の上司から仕事が無い時は時間まで自由にして構わない」と・・・

この場合だと先程の一般論とは状況が違ってきますね。ですから、この辺については個人・個人の置かれている状況と良識にお任せして自由で良いのではないかと思います。

浅永さん、これからも職場で許される時間があれば是非、今まで通りにやって下さって良いのではないかと思いますよ。それが許される環境で働いているだけの事ですから・・・

まえのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

413

▼

記事削除

powered by **du one**  
NET